

# I. アオリイカ稚仔の孵化飼育について

瀬底正武・金城宏

## 1. 現況と目的

羽地漁協大宜味支部の漁業形態は、網漁業（刺網・定置網・マス網）とウニ、モズク、貝類の採取漁業が主体をなし、釣漁業はほとんど行なわれていない。また、地域の形態も内湾性（羽地内海・塩屋湾内）にとんだ、養殖適性型の地域であることから、周年操業の一環としても、同湾を生かした養殖漁業の開発を行ない、さらに、漁業者に対し栽培漁業のあり方を実践で学ぶという目的もかねて、1973年8月27日から大宜味支部員からなる大宜味漁業研究会を中心に塩屋湾の宮城島入江において、アオリイカの採卵、孵化、飼育を実施したのでその概要を報告する。

（49年の2月現在継続実施しているため、その後の状況については、終了後にあらためて報告する）

## 2. 採卵柴漬及び蓄養施設の設置状況

柴及び蓄養施設の設置場所は、図-1に示されるように、湾外で2ヶ所（St-A・B）と湾内で2ヶ所（St-C・D）に設置した。

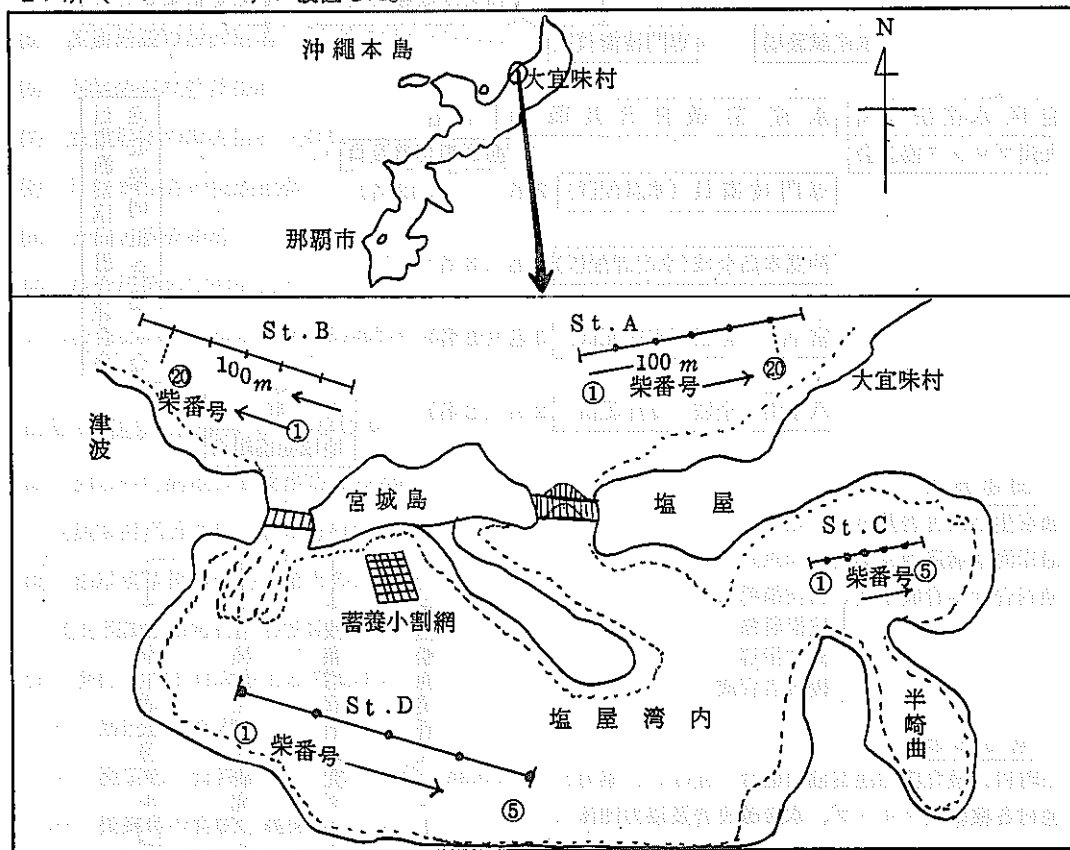


図-1. 柴漬及び蓄養施設の設置場所